

5 断熱への意識を高めましょう

前項で紹介した住宅版エコポイント制度のスタートにより、「エコリフォーム」への注目度が高まっています。中でも既存住宅の断熱性向上はもっとも大きなテーマです。そこで、住まいの断熱分野では全国でもトップレベルの技術を持つ企業として名高い、マルフジフォーム工業・代表取締役の藤井政則さんに、断熱化のメリットやポイントなどについて伺いました。



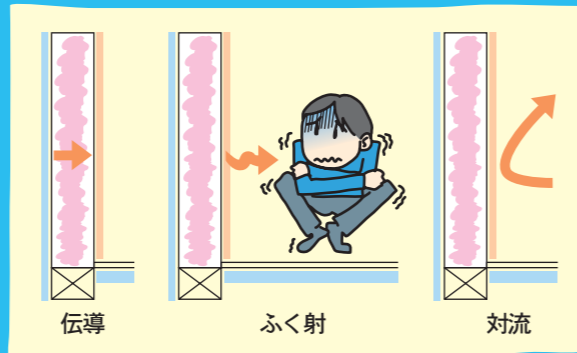
PROFILE
ふじいまさのり
 マルフジフォーム工業 代表取締役、断熱業界に飛び込んで21年。あくなき探究心で真の快適な家づくりを追求するとともに、ユーザーへの普及・意識高揚に情熱を燃やす。「この環境、なんとかならんか!」と嘆く人たちの下へ日夜奔走中。

POINT① 断熱材が入ってれば大丈夫というわけではない

近年は長期優良住宅など、快適に長く住める家づくりが主流になりつつあります。家を長持ちさせるためには耐震性・耐久性はもちろんですが、断熱性も重視すべきだと私は思っています。断熱性の向上に対するユーザーの意識はまだまだ低い気がします。なにぶん断熱性能を高めればコストが上がるわけですから、どうしても躊躇してしまいがち。それに、標準的に使われている断熱材が入ってれば大丈夫だろうと思われている方も多いようです。ただ、断熱材が入っていれば安心というわけではないんです。断熱性・機密性能は施工によって変わってきます。施工が難しいため施工不良が発生しやすく、断熱性能も低下してしまいます。そして、空気が動き断熱材の性能が低下するとともに、正しい換気ができなくなってしまうので、汚れた空気の排出ができなくなってしまいます。**断熱材の機能低下は冷暖房費の増大にもつながるのです。**

POINT② 断熱は「システム」で考えよう

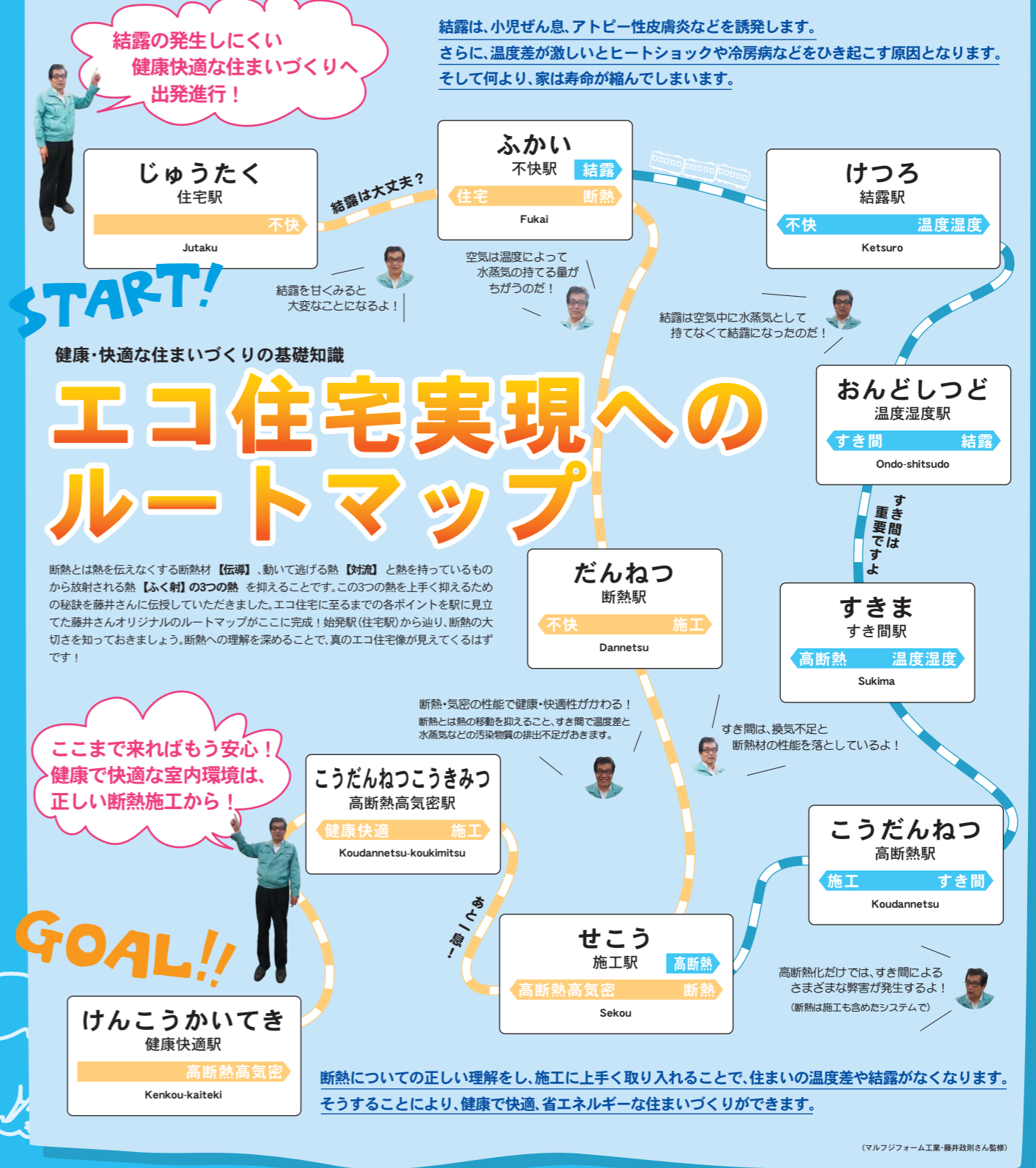
私は「断熱は施工を含めたシステムで考えよう」と提唱しています。断熱材を施工する上でもっとも大切なのは「すき間なく施工すること」。断熱材の性能(断熱材の種類と厚み)と換気(生活に必要な換気とすき間風による換気)のよる熱の移動を重視しなければいけません。また、断熱材の中や、室内にすき間風が入らないようにすることが、断熱効果を高める上で大切になってきます。断熱とは、「伝導」「ふく射」「対流」の3つの熱を抑えることです。この3つの熱を抑制することで、躯体や壁の温度と室内温度の差を小さくすることができます。断熱は正しい考え方と施工によって性能を発揮するのです。快適な住まいは正しい断熱からと言っても過言ではないでしょう。



CHANCE! 今こそ断熱化をオススメしたい

断熱材はすべて、良い断熱性能を持っているから断熱材といわれているのだと思います。ですが、断熱材の特性を生かした施工が中途半端で、断熱の性能を十分発揮できていないのが現状だと言えるでしょう。断熱材の高性能化が進む中で、本当に正しい施工を行わないと、今後のスタンダードとなる健康で快適なエコ住宅は実現しないと思っています。だから、これから新築・リフォームをお考えの方は、ぜひとも断熱についての意識を高めていただき、正しい施工ができる会社選びを心がけていただきたいと思います。断熱工事にかかるコストも、長い目で見れば光熱費の削減につながるのです。また、断熱工事は住宅版エコポイントの対象にもなっていますから、**今がいい機会**だと思いますよ。正しい断熱とは何かをお知りになりたいなら、いつでもお気軽にご相談ください。できる限りアドバイスさせていただきますからね。

特別掲載



取材協力
マルフジフォーム工業 有限会社
 〒720-0013 福山市千田町千田3183-1
 TEL 084-955-3433
 http://www.marufujiform.com